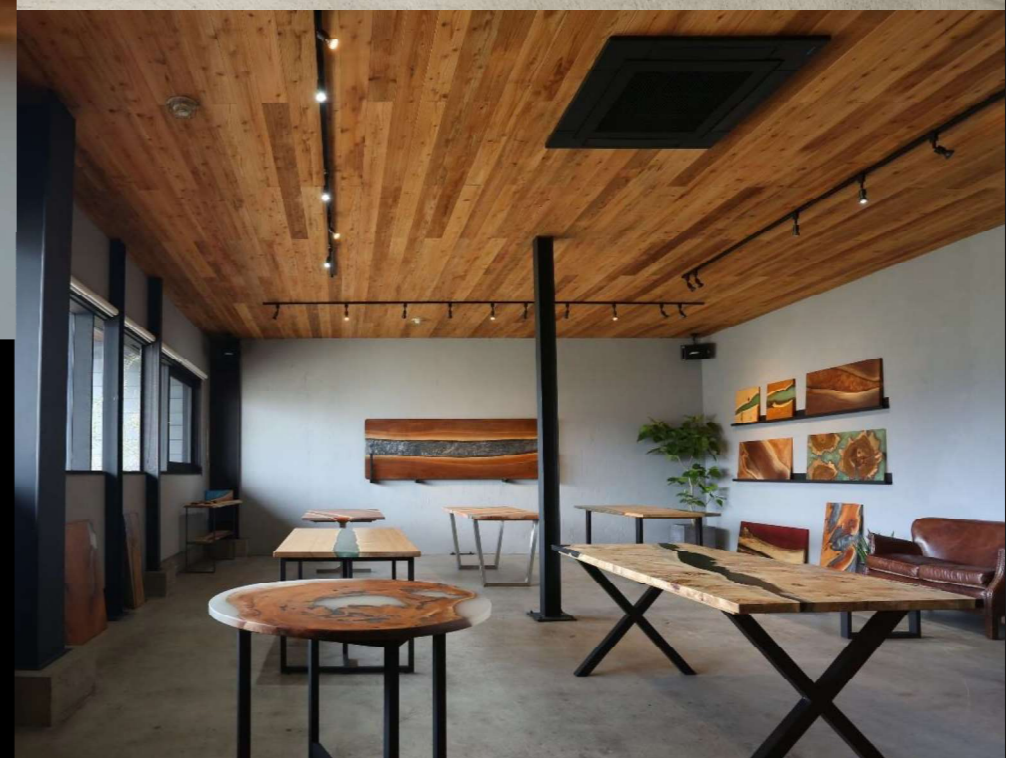


みえの木製品コンテスト2022

作成名	レジンテーブル	作成者	なかの材木株式会社 (HP : https://www.zai-moku.jp/)
作品紹介	穴だらけの樺とエポキシ樹脂 (天然由来) を融合させた丸テーブルです。三重県の特産品「真珠」をイメージして高級感のあるテーブルに仕上げました。		
コンセプト PRポイント	弊社では、日頃から木の新しい価値を創造する取り組みを行っています。男女問わず、年齢も幅広い層から気に入ってもらえるような木製品を作りたい。地元の木で使い道が無く捨てられてしまうような木を魅力的な木製品に変えたいという想いで商品開発をしました。接着剤として使われているエポキシレジン液に色を付け、自然にできた虫食いや腐った部分をカッコよく表現し、商品として光を当てています。木を愛し続けてきた材木屋が培われた木の目利き力を活かし、木それぞれに合った色や見え方を考えテーブルにしています。		



**WOOD
LOVER'S**
Woods for life, Smile for you.



三重県亀山市内産材の欅(けやき)の一枚板
加工前の原板
腐りや虫食いの穴が多く、商品としての価値が低い。



対象の木材を固定してエポキシ樹脂(レジン)を
流し込みし、硬化させる。



【エポキシ樹脂(レジン)とは】
簡単にいうと接着剤的なプラスチックである。
エポキシ樹脂には石油系と植物性のものがあり、
弊社では環境にやさしい植物性(大豆からつくられた)
のものを使用しています。

【商品詳細】

けやき丸レジンテーブル
天板寸法 直径900×厚30mm
価格 ¥280,500(税込)



無垢のケヤキ板

白に色付けしたレジン(エポキシ樹脂)

【商品説明】

木の穴が開いている所に植物性樹脂(エポキシレジン液)を流し込み、形成することでそのままでは使えない板をテーブルとして再生しています。商品としての価値を高め、一人でも多くの人に木のぬくもり、優しさ、自然の壮大さを感じてほしいと願って製作しています。完成したテーブルの触り心地は滑らかで、上記の穴だらけの板と同じものとは思えないほどに高級感があります。

この商品は、SDG'sの「12. つくる責任 つかう責任」において廃棄される使い道のない材木を加工し商品価値を高め、流通させる取り組みをしています。

【自社紹介】

創業93年の材木屋です。流通業を主として営業してきましたが、7年前より三重県産の杉をヴィンテージ加工した羽目板を商品開発し全国販売しています。そしてレジンで作る家具は作れるまでに約1年要し、約1年前より販売しています。

【ブランドについて】

WOOD ROVER'Sというブランド名は、我々のように木が大好きな人になって、仲間になりましょうという思いが込められています。

